



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	77,300	38,500	0	0
	その他	(千円)	8,946	0	0	0
	一般財源	(千円)	77,300	204,052	181,557	0
事業費計		(千円)	163,546	242,552	181,557	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.90	1.90		
		時間外勤務 (時間)	120.00	966.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	13,707	15,266		
事業コスト		(千円)	177,253	257,818		

R02年度当初積算根拠	収益的支出 1-1-5		負担金		
	報償費	75千円	保険料	7,281千円	
	旅費	49千円	工事請負費	37千円	
	備品消費費	1,298千円	使用料及び賃借料	21,010千円	
	燃料費	435千円	消費税及び地方消費税	3,687千円	
	印刷製本費	55千円	消費税及び地方消費税 (法適用前年度分)	94,546千円	47,273千円
	通信運搬費	633千円	資本的支出 1-2-1		
	委託料	4,439千円	下水道事業基金積立金	1千円	
	手数料	65千円			
	修繕費	656千円			
公課費	17千円				

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	5
市民ニーズと今後の見込み	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3
事業が計画的に進んでいるか	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
市の関与	2
行政が関与する必要性について	今後も市が実施するほうがよい。
優先度	2
事業の優先度はどうか	継続して実施する必要がある。

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	683 上下水道審議会事業								
戦略プラン						担当部課 係名	生活環境部下水道管理課 庶務係		
総合戦略						新規・継続	継続		
						事業分類	任意的事務		
予算科目	03-010101-12 上下水道審議会に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間							
個別計画									
根拠法令	つくば市上下水道審議会条例				事業体制	職員のみ			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
下水道事業の円滑な運営を図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業に関し、諮問する事項が発生したときに会議を開催する。</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて開催していく。</li> </ul>					本年度は開催していない。				
成果					課題				
開催なし									
改善目標（R02年度にむけて）									
指標の推移									
1	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	150	0
事業費計		(千円)	0	0	150	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	679		
事業コスト		(千円)	706	679		

R02年度当初積算根拠	収益的支出 1-1-5 上下水道審議会（下水道に限る）関係経費					
	報酬	120千円	8千円×15人×1回			
	旅費（費用弁償）	30千円	2千円×15人×1回			

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	684 下水道維持管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部下水道管理課 管理係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	03-010102-11 下水道維持管理に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分	事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画	下水道長寿命化計画、下水道ストックマネジメント計画				<input type="checkbox"/> 実行			
					<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令	下水道法			事業体制	一部委託			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
市民の衛生的環境保全のため適切な維持管理を行い、施設の安全性を確保する。				・中継ポンプ場、マンホールポンプなどの下水道施設の適正な維持管理及び修繕工事を行い、運転に関わる安全性を確保する。 ※行政改革アクションプラン「63 下水道への加入促進」該当事業				
評価								
事業計画				活動実績				
・中継ポンプ場29箇所、マンホールポンプ297箇所、流量計34箇所、下水道汚水管渠延長 L=1,500km等下水道施設の適正な維持管理及び修繕工事を行い、運転に関わる安全性を確保する。				・中継ポンプ場29箇所、マンホールポンプ304箇所、流量計34箇所、下水道汚水管渠延長 L=1,536km等下水道施設の適正な維持管理及び修繕工事を行い、運転に関わる安全性を確保した。  令和元年度の契約件数：工事134件、委託97件				
成果				課題				
下水道施設の適正な維持管理及び修繕工事により、安全確保及び生活環境の向上が図れた。				下水道施設の老朽化に伴い、計画的な改築・更新事業に加え、緊急修繕を必要とする施設が年々増加し、時間外勤務が常態化していることから、今後、適正な職員数及び技術職員の確保が課題である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
効率的に業務を遂行するため、外部研修等に参加し、職員のスキルアップを図る。								
指標の推移								
1	指標名	下水道水洗化率 ( % )					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	94.6	94.8	95.0	95.3	95.5
	実績	94.3	94.5	94.7	94.9	95.2	95.4	0.0
	指標の概要	※行政改革アクションプラン「63 下水道への加入促進」該当指標						
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	286,000	100,798	339,850	0
	県支出金	(千円)	10,402	0	19,827	0
	地方債	(千円)	242,200	94,500	376,450	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,980,385	2,083,761	2,335,361	0
事業費計		(千円)	2,518,987	2,279,059	3,071,488	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	4.50	4.50		
		時間外勤務 (時間)	808.00	2,210.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	33,763	35,963		
事業コスト		(千円)	2,552,750	2,315,022		

R02年度当初積算根拠	【収益的支出】
	1 管路管理費 台帳整備委託料 39,457千円、管渠清掃委託料 33,000千円、管渠・マンホールポンプ修繕、舗装修繕費 130,063千円、霞ヶ浦常南・小貝川東部流域維持管理負担金 1,208,082千円 外183,728千円
	2 ポンプ場管理費 ポンプ場等維持管理委託料 564,863千円 施設台帳システム保守管理 4,719千円 外26,668千円
	【資本的支出】
1 管路建設改良費 管渠長寿命化更新工事 164,560千円、管渠更新工事 38,786千円、管渠更生工事実施設計委託 12,000千円 テレビカメラ調査 81,400千円 外33,880千円	
2 ポンプ場建設改良費 ポンプ場改築・更新事業委託 (日本下水道事業団) 520,000千円、ポンプ場改築工事 30,282千円	

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	3 やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	685 雨水管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部下水道管理課 管理係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	03-010103-11 雨水管理に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	下水道法				事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
都市部の雨水浸水被害から市民及び財産を守る。					・ 雨水調整池及び都市下水路の修繕、除草等維持管理			
評価								
事業計画					活動実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>4月末 除草作業委託の執行</li> <li>調整池（33,715㎡）及び都市下水路の除草・維持管理業務を実施</li> </ul>					7月～10月 調整池及び都市下水路等の除草実施 11月～3月 蓮沼川都市下水路管理用道路舗装工事実施			
成果					課題			
除草及び工事を工程通り実施したことにより、適切な維持管理を図ることができた。					都市下水路及び雨水排水路の修繕費の確保が課題である。			
改善目標（R02年度にむけて）								
財政部局と協議し、財源確保に努め、計画的に事業を推進する。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	34,290	40,178	69,626	0
事業費計		(千円)	34,290	40,178	69,626	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,057	3,392		
事業コスト		(千円)	41,347	43,570		

R02年度当初積算根拠	【収益的支出】 調整池及び都市下水道等除草委託料 27,423千円 調整池ポンプ施設維持管理委託料 550千円 調整池等修繕工事 3,300千円 外 753千円
	【資本的支出】 蓮沼川都市下水路災害復旧工事 27,500千円 梅が丘地区雨水排水路改修実施設計委託 10,100千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	3 やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	